

平成28年度山武・外房薬剤師会合同研修会報告

報告者：矢野恵子（外房薬剤師会学校薬剤師支部長）

平成28年7月19日（火）仕事後の疲れている中会員28名・学生3名の方々が集い、平成28年度山武薬剤師会と外房薬剤師の合同研修会が東金文化会館2階会議室2にて開催されました。

ファイザー株式会社健康増進推進部泉水貴雄先生をお招きし「タバコを取り巻く環境の変化、防煙教育について」と題して、講演をいただきました。タバコを取り巻く環境では、タバコの税収が現在2兆円ある。日本人男性の喫煙率は、先進国の中でも飛びぬけていて39%いる。米国では21%・英国では27%である。FCTCは、国際条約でタバコ消費の減少を目的としています。そのために、価格や税を高くしたり・包装やラベルの適正な表示・教育や情報の伝達・広告禁止・依存への適切な治療の促進・未成年者への販売禁止活動を行っている。タバコ会社のスポンサー活動では、F1レーサーの車体のロゴマーク禁止やアニメにおいて喫煙シーンがなくなっている。ニコチン依存症のメカニズムは、脳にニコチンが結合するニコチン受容体があり、タバコを吸うと煙に含まれるニコチンがすぐに脳に達し、快感を生む物質（ドパミン）がたくさんされ、すぐに受容体から離れて消え、イライラなどのニコチン切れ症状が現れて再びタバコを吸いたくなる。喫煙者自身への影響は、さなざまな疾患リスクが高くなり、寿命や健康寿命が短くなる。受動喫煙の影響は、スコットランドで公共の場で全面禁煙が施行された影響で心筋梗塞による入院はタバコを吸う人で14%減少し吸わない人で21%減少した。分煙では受動喫煙を
防げない理由は、換気扇で吸う力より人間が動くことによる空気が移動する力が大きいためです。禁煙することのメリットは、呼吸が楽になったり・胃の調子が良くなり食欲がでたり・衣類や部屋がタバコ臭くなくなったり・肩こりがなくなったり・目覚めが良くなったり・口臭がしなくなったり・肌の調子が良くなったりする。外来での禁煙治療による保険適用は、35歳以上で1日20本で10年吸わないと保険適用とならない、若い世代の禁煙治療も今回の診療報酬改定で保険適用になりました。